

## 商工業を中心とする皆様からの主な提言等と市側の回答要旨

提言等の項目	H28夏開催の「市長と語る会」	
	皆さまからいただいた主な提言等	その際の回答要旨
①産業育成	市の産業育成として、将来の担い手や起業への支援が重要だと考えている。 銀行としても、商業の減退を感じており、地域経済に危機感を持っている。 そこで、例えば、金融機関が支援しやすいような形で資金の助成や貸し付けを行政で行っていただけるとありがたい。	産業への支援等は、ひと・まち・産業(しごと)創生総合戦略でもうたわれており、また、市としても弱い部分なので、例えば、関係団体と協力して起業塾というようなものを開催していくことが必要と考えています。 資金貸し付けは、リスクを検討しながら市としても力を入れなければならないことですが、市だけでは難しいので、金融機関や商工会議所と連携していきたいと思ます。
②避暑地	滑川漁港から早月川の海岸線用地を取得し、ニースやコート・ダジュールのような避暑地になったら良いと思う。	市の海岸線の景観は非常に良いですが、長い期間がかかると思います。 ご提案として、頂戴します。
③商業支援	市が描く滑川市の商業のイメージがあれば教えてほしい。 また、市の商業者に対する叱咤激励をいただきたい。	身の回りのものが、徒歩圏内で揃えられるまちが基本だと考えており、中滑川駅前やまちなかでの起業や大々的なイベントを開催していただくことを期待しています。 また、買い物弱者への対策と平行し、商業に携わる方・起業される方の支援を行わなければならないと考えています。 今後も皆さんと協力しながら、まちづくりを進めていきたいと思ます。
④湾岸クルージング	富山湾岸クルージングは、自分のお店に来る方から評判が良いので市でさらにPRを	富山湾岸クルージングについては、まだ市民の皆さんに浸透していないと思われまますので、今後の利用等について、市・観光協会・運航会社でのPRほか、市の観光協会会長が、富山県旅行業協会の会長にも就いているほか、市で営業に長けた方を雇用し、そういった方とも力を合わせていくことを考えています。 また、市内外の学校にもPRし、子どもたちにもクルージングを体験していただく予定です。 皆さんも、機会をみて、関係各所にPRしていただけるとありがたく思ます。
⑤キラリン電飾	キラリンを、例えば電球等の装飾をして光らせるなど、リニューアルしてはどうか。	既に、キラリンの頭部に青白く光るLEDの電飾を施し、各種イベントへ参加しています。
⑥職員のPRとイベント参加	市職員が自らクルーズ船に乗ったうえでPRをしなければ相手に伝わらない。 また、市のイベント等においても家族と共に積極的な参加をするべき。	クルーズ船には、個人的な利用のほか、業務として乗船している職員もいますが、職員全員が市のセールスマンとなってPRできるよう、クルーズ船の利用やイベント参加のほか、自分の住む地域の行事への参加についても職員に促したいと思ます。

## 商工業を中心とする皆様からの主な提言等と市側の回答要旨

提言等の項目	H28夏開催の「市長と語る会」	
	皆さまからいただいた主な提言等	その際の回答要旨
⑦定住対策	<p>子どもが大学進学を機に県外へ進学し、そのまま戻ってこないことが人口減少の問題の1つと考える。 そこで、例えば、大学資金として無料で資金を貸し付け、滑川市へ帰ってきて就職・定住をしたら返済不要にするなどの施策を検討してほしい。</p>	<p>市としては、既に無利子での奨学金の貸し付けを行っていますが、国・県を挙げての支援が必要であり、総合的に考える必要があります。 また、子どもの頃からふるさと滑川への思いを根付かせる施策と共に、企業とも連携し、若者を受け入れる土壌・環境・仕組みづくりを考えたいと思います。</p>
⑧田中小学校旧校舎	<p>田中小学校の旧木造校舎について、文化財ではあるが、地域で積極的に利活用を行いたい。利活用の内容次第では可能か。</p>	<p>国の登録有形文化財の登録は間もなくかと思われます。 今秋、高階哲夫生誕120周年を記念し、氏にまつわるものや、田中小学校ゆかりのもの、ネブタ流し等についての展示会を開催する予定です。 展示会開催後、それ以降の利活用を検討したいと思いますが、旧校舎は、本来取り壊すものを地元の要望で最低限の耐震改修等を行い残したという経緯もあり、日常的な利活用は想定していません。 旧校舎を残す大前提として、大々的な使用はせずに、卒業生の同窓会があった際に中を見ていただく程度ということだったかと思えます。</p>
⑨人口減少対策	<p>人口減少対策として、次世代にも住み継がれていくような質の良い宅地政策を、金融機関も含め長いスパンで行えないか。 また、市内の子どもが、休日は富山市へ出かけ、同世代の子どもと交流しており、滑川市内にそういった子どもたちが集えるスペースを作れないか。</p>	<p>当面の問題として、宅地開発と空家対策は同時に考えないといけません。 特に、まちなかにおいては空き家を朽ちるまで放置させない施策が必要な一方、東加積小学校付近は児童数確保のほか、景観が良いので新たな団地造成への施策など、両面から考えないといけない、悩ましい問題です。 子ども・若者がいないとまちが継続しないため、子どもの居場所も含め、政策を考えなければなりません。</p>